

男女共同参画に関するアンケート調査

— ご協力をお願い —

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

富津市では、令和4年度に策定を予定している「（仮称）富津市男女共同参画計画」及び男女共同参画施策を推進する上での基礎資料とするため、市民の皆様の日常生活における状況やご意見等について、調査を実施することといたしました。

このアンケート調査の実施にあたり、市内にお住まいの18歳以上の方から2,000人を無作為に選び、送付させていただきました。調査は無記名で、ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年10月

富津市長 高橋 恭 市

※ 男女共同参画社会とは・・・

男性も女性もすべての個人が、互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

— ご記入にあたってのお願い —

- 1 調査票や封筒に、お名前やご住所を記入する必要はありません。
- 2 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- 3 お答えは、該当する番号に○印をつけてください。また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 質問ごとに○印をつける数を指定していますので、その数に応じてご回答ください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

11月8日（月）までに投函してください。（切手不要）

この調査につきまして、ご不明な点等ございましたら下記へお問い合わせください。

富津市総務部企画課企画係

電話：0439-80-1223

1 あなた自身のことについて

F1 あなたの性別に○をつけてください。(○は1つ)

1 男 性

2 女 性

F2 あなたの年齢に○をつけてください。(○は1つ) (令和3年10月1日現在)

1 18・19歳

2 20歳代

3 30歳代

4 40歳代

5 50歳代

6 60歳代

7 70歳以上

F3 あなたのお住まいの地区(中学校区別)に○をつけてください。(○は1つ)

1 富津地区

2 大佐和地区

3 天羽地区

F4 あなたの就業形態は次のどれですか。(○は1つ)

1 正社員・正職員

2 派遣社員、契約社員

3 パート・アルバイト

4 自営業・自由業

5 会社役員・経営者

6 専業主婦・専業主夫

7 学生

8 無職

9 その他()

F5 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

1 結婚している(事実婚含む)

2 離婚・死別した

3 結婚していない

【F5で「1 結婚している(事実婚含む)」と回答した方に伺います】

F5-1 あなたとパートナー(配偶者など)は共働きをしていますか。(○は1つ)

1 共働き(ともにフルタイム)

2 共働き

(どちらか、またはともにパートタイム)

3 どちらか一方だけ仕事を持っている

4 どちらも無職

5 その他()

F6 あなたの家族構成は次のどれですか。(○は1つ)

1 1人暮らし

2 夫婦のみ

3 2世代世帯(親と子ども)

4 3世代世帯(親と子どもと孫)

5 その他()

F7 あなたにお子さんはいますか。(○は1つ)

1 いる

2 いない

【F7で「1 いる」と回答した方に伺います】

F7-1 一番下のお子さんの年齢に○をつけてください。(○は1つ)

1 就学前	2 小学生	3 中学生
4 高校生以上の学生	5 社会人	6 その他 ()

F8 あなたの家族の中で介護が必要な人はいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

2 男女共同参画全般について

問1 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑧のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
② 職場の中で	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
⑦ 地域活動の場で (自治会やPTA など)	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、次の言葉を知っていますか。①～⑩のそれぞれについてあてはまるものを1つ選
んで番号に○をつけてください。

	内容まで知	内容は聞いていないが知っている	知らない
① 男女共同参画社会	1	2	3
② 男女共同参画社会基本法	1	2	3
③ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3
④ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）	1	2	3
⑤ 男女雇用機会均等法	1	2	3
⑥ 富津市男女共同参画のまちづくり条例	1	2	3
⑦ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑧ ジェンダー（社会的文化的につくられた性別）	1	2	3
⑨ LGBT（性的マイノリティ）	1	2	3
⑩ ドメスティック・バイオレンス（DV）	1	2	3

3 家庭生活について

問3 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように
思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1 賛成	2 どちらかといえば賛成	3 どちらかといえば反対
4 反対	5 わからない	

【問3で「1 賛成」「2 どちらかといえば賛成」と回答した方に伺います】

問3-1 その理由について、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから 2 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから 3 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 4 男性が家事・育児・介護を行うことに周囲の理解が得られないから 5 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから 6 自分の家族も役割分担をしていたから 7 その他（具体的に： _____） 8 特にない 9 わからない
--

【問3で「3 どちらかといえば反対」「4 反対」と回答した方に伺います】

問3-2 その理由について、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 夫と妻の固定的な役割分担の意識を押し付けるべきではないから
- 2 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
- 3 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
- 4 夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- 5 男女平等に反すると思うから
- 6 自分の母親も外で働いていたから
- 7 その他（具体的に： _____）
- 8 特にない
- 9 わからない

問4 あなたは、家庭における次の役割について、どのように分担するのが望ましいと思いますか。

①～⑪のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	主に男性	主に女性	男性と女性で 同程度分担	その他（家族以外 の人や家事代行サ ービスなど）
① 食事の支度・後片付け	1	2	3	4
② 掃除・洗濯	1	2	3	4
③ ごみ出し	1	2	3	4
④ 食料品・日用品等の買物	1	2	3	4
⑤ 生活費の確保	1	2	3	4
⑥ 家計費の管理	1	2	3	4
⑦ 乳児・幼児の世話	1	2	3	4
⑧ 子どもの学校行事等への参加	1	2	3	4
⑨ 子どもの送迎、勉強や遊びの世話	1	2	3	4
⑩ 介護や看護が必要な家族の世話	1	2	3	4
⑪ 自治会や地域活動への参加	1	2	3	4

問5 あなたの家庭では、次の役割について、主に男性、女性のどちらが担当していますか。①～⑪のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	主に男性	主に女性	男性と女性で 同程度分担	男性のみ・女性のみ の家庭である	その他（家族以外の 人や家事代行サービ スなど）	該当しない
① 食事の支度・後片付け	1	2	3	4	5	
② 掃除・洗濯	1	2	3	4	5	
③ ごみ出し	1	2	3	4	5	
④ 食料品・日用品等の買物	1	2	3	4	5	
⑤ 生活費の確保	1	2	3	4	5	
⑥ 家計費の管理	1	2	3	4	5	
⑦ 乳児・幼児の世話	1	2	3	4	5	6
⑧ 子どもの学校行事等への参加	1	2	3	4	5	6
⑨ 子どもの送迎、勉強や遊びの世話	1	2	3	4	5	6
⑩ 介護や看護が必要な家族の世話	1	2	3	4	5	6
⑪ 自治会や地域活動への参加	1	2	3	4	5	6

問6 あなたが家事・育児・介護に携わる時間は1日当たり平均してどのくらいですか。(1)平日と(2)休日について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。((1)と(2)それぞれ○は1つ)

	(1) 平日	(2) 休日
① 携わっていない	1	1
② 30分未満	2	2
③ 30分以上1時間未満	3	3
④ 1時間以上2時間未満	4	4
⑤ 2時間以上4時間未満	5	5
⑥ 4時間以上6時間未満	6	6
⑦ 6時間以上8時間未満	7	7
⑧ 8時間以上	8	8

問7 あなたは、男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること
- 2 子どものころから、男女平等意識を教育や生活の中に取り入れること
- 3 社会の中で、男性が家事・育児・介護に関わることについて、評価を高めること
- 4 男性による家事・育児・介護について、職場における上司や周囲の理解を進めること
- 5 働き方改革により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
- 6 男性が家事・育児・介護を行うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 7 男性が家事・育児・介護を行うことに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 8 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
- 9 男性が家事・育児・介護を行うための、仲間（ネットワーク）作りを進めること
- 10 男性の家事・育児・介護について、啓発や情報提供、相談窓口の設置、講座などを行うこと
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特に必要なことはない

4 働き方について

問8 一般的に、女性が仕事を持つことについて、あなたはどのように考えますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 女性は仕事を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは仕事を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは、仕事を持つ方がよい
- 4 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
- 5 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい
- 6 その他（具体的に： _____）

問9 女性が仕事を続けていく上では、どのような障害があると思いますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。（○は3つ以内）

- 1 結婚や出産の際、退職しなければならない慣行が今でも残っている
- 2 家事・育児の負担
- 3 病人・高齢者の世話
- 4 家族の同意・協力が得られない
- 5 賃金、待遇等で性差別がある
- 6 女性の能力が正当に評価されない
- 7 中高年の女性に退職を促すようなまわりの圧力がある
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 特に障害はない

【現在働いている方、または働いていた方にお伺いします】

問 10 あなたは、今までに育児休業・介護休業を取得しましたか。(1) 育児休業と(2) 介護休業について、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。(1)と(2)それぞれ○は1つ)

	(1) 育児休業	(2) 介護休業
① 取得した・取得中である	1	1
② 制度はあるが、取得したことはない	2	2
③ 制度がないため、取得できない	3	3
④ 制度について知らなかったため、取得していない	4	4
⑤ 休業取得に該当しない(子ども・介護が必要な家族はいない)	5	5
⑥ その他 ()	6	6

【問10で「②制度はあるが、取得したことはない」と回答した方に伺います】

問10-1 育児休業・介護休業の制度を利用しない理由は何ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1 経済的に生活が成り立たなくなるから	2 職場に休める雰囲気がないから
3 休みを取ると勤務評価に影響するから	4 解雇される不安があるから
5 自分の仕事は代わりの人がいないから	6 一度休むと元の仕事に戻れないから
7 現在取り組んでいる仕事を続けたいから	8 家族の理解が得られないから
9 家族の協力で利用しなくても対応できるから	10 その他(具体的に:)

5 地域活動について

問 11 あなたは現在、次のような地域活動に参加していますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1 自治会や町内会などの地域活動
2 保護者会・PTA、子ども会などの活動
3 趣味や教養、スポーツ、レクリエーションなどのサークル活動
4 環境問題・消費者問題やリサイクルなどの市民活動
5 高齢者や障がいのある人の介護などのボランティア活動・福祉活動
6 防災活動や防犯活動
7 その他(具体的に:)
8 参加している活動はない

【問 11 で1～7のいずれかを選択した方に伺います】

問 12 あなたが参加している地域活動の現状はどのようになっていますか。①～⑤のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	そう 思う	そう 思わ ない	ど ち ら で も な い	わ か ら な い
① 催し物の企画などは主に男性が決定する	1	2	3	4
② 地域活動は男性が取り仕切る	1	2	3	4
③ 集会等の時には、女性がお茶くみや片づけをしている	1	2	3	4
④ 女性は役職につきたがらない	1	2	3	4
⑤ 女性が発言することは少ない	1	2	3	4

6 ワーク・ライフ・バランスについて

問 13 あなたの生活の中での、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」の優先度について、(1) あなたの理想と(2) あなたの現状に最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。((1)と(2)それぞれ○は1つ)

	(1) 理想	(2) 現状
① 「仕事」を優先	1	1
② 「家庭生活」を優先	2	2
③ 「個人の生活」を優先	3	3
④ 「仕事」と「家庭生活」を優先	4	4
⑤ 「仕事」と「個人の生活」を優先	5	5
⑥ 「家庭生活」と「個人の生活」を優先	6	6
⑦ 「仕事」「家庭生活」「個人の生活」のすべてを優先	7	7
⑧ わからない	8	8

※家庭生活：家族とともに過ごすこと。家事、育児、余暇、介護、看護など。

※個人の生活：学習・研究、趣味、娯楽、スポーツ、ボランティア活動、社会活動、付き合いなど。

問14 あなたは、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。(○は3つ以内)

- 1 育児・介護休業を取得しやすくするため、柔軟な制度にすること
- 2 管理職の意識や制度を利用しやすい職場環境を整備すること
- 3 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実すること
- 4 地域や職場内の保育所、学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容を充実すること
- 5 ファミリーサポートなどが利用しやすくなること
- 6 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること
- 7 シェアオフィスの整備や起業支援など、多様な働き方が出来るよう環境を整備すること
- 8 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
- 9 パートタイマーなど非正規職員の労働条件を改善すること
- 10 結婚・出産・介護などの理由で退職した人が職場復帰できる再雇用制度を充実させること
- 11 再就職を希望する人のための講座・セミナーを充実させること
- 12 男女が共に仕事と家庭を両立することに対して、家庭など周囲の理解と協力があること
- 13 その他（具体的に： _____）
- 14 わからない

7 女性の活躍推進について

問15 あなたは、政治や企業活動、地域活動など、あらゆる分野において、政策・方針を決定する場に女性の参画が少ない理由について、どのように考えますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 男性優位の組織運営になっているから
- 2 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから
- 3 性別による役割分担や性差別の意識があるから
- 4 女性の積極性が十分でないから
- 5 家族の支援・協力が得られないから
- 6 女性の活動を支援するサポート体制が整っていないから
- 7 女性の能力を向上させる機会が不十分だから
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 わからない

問16 あなたは、政治や企業活動、地域活動など、あらゆる分野で、女性の参画が進み、女性リーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
- 2 女性の声が反映されやすくなる
- 3 多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される
- 4 男女問わず仕事と家庭の両立を優先しやすい社会になる
- 5 男性の家事・育児などへの参加が増える
- 6 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
- 7 保育・介護など公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する
- 8 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 特にない
- 11 わからない

8 防災について

問17 あなたは、防災・災害復興対策で特に女性の視点に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。（○は3つ以内）

- 1 避難所の設備（男女別トイレ・更衣室の設置、プライバシーの確保、防犯対策など）
- 2 避難所の運営、被災者への対応、支援物資の配布（避難所生活が長期化する場合）
- 3 乳幼児、高齢者、障がい者、女性（女性用品）などに対する備蓄品やニーズの把握
- 4 災害時の救援医療体制（診療・治療体制、妊産婦をサポートする保健師の配置など）
- 5 被災者に対する相談体制・相談窓口の開設
- 6 防災計画、災害復旧・復興計画策定過程、防災会議等への女性参画
- 7 自主防災組織の設立、防災訓練への参加（女性防災リーダーの育成）
- 8 特にない
- 9 その他（具体的に： _____）
- 10 わからない

9 人権について

問18 あなたは、これまでに、配偶者や交際相手などから、次のようなことをされたことがありますか。①～⑱のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	何 度 も あ っ た	数 回 あ っ た	ま っ た く な い
① 命の危険を感じるくらいの暴力を受ける	1	2	3
② 医師の治療が必要になるほどの暴力を受ける	1	2	3
③ 医師の治療は必要ではないが、軽度の暴力を受ける	1	2	3
④ 壁やドアを叩くなどの行為をする	1	2	3
⑤ 何を言っても無視され続ける	1	2	3
⑥ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性無し」と言われる	1	2	3
⑦ 大声で怒鳴られる	1	2	3
⑧ 嫌がっているのに性的な行為を強要される	1	2	3
⑨ 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な表現をする	1	2	3
⑩ 容姿について傷つくようなことを言う	1	2	3
⑪ 避妊に協力しない	1	2	3
⑫ 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	1	2	3
⑬ 生活費を渡してもらえない	1	2	3
⑭ 相談せずに浪費や借金をして苦しめられる	1	2	3
⑮ 就職することを制限する	1	2	3
⑯ 職場に嫌がらせをされる	1	2	3
⑰ 交友関係やメール、郵便物等を細かく監視される	1	2	3
⑱ 私物を壊す、勝手に捨てる	1	2	3
⑲ その他（具体的に： ）	1	2	3

【問18で「何度もあった」または「数回あった」と回答した方に伺います】

問19 その行為を受けたことについて、どこ（だれ）かに相談しましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 配偶者暴力相談支援センター（君津健康福祉センター）
- 2 警察署（富津警察署）
- 3 市役所（富津市役所 福祉の窓口課）
- 4 家族・親戚
- 5 友人・知人
- 6 民生・児童委員、人権擁護委員
- 7 弁護士、家庭裁判所など
- 8 医師、カウンセラーなど
- 9 民間の相談窓口
- 10 インターネットの相談サイト
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）

【問19で「12 どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」と回答した方に伺います】

問20 相談しなかった（できなかった）理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1 どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった
- 2 相談する人がいなかった
- 3 恥ずかしくてだれにも言えなかった
- 4 相談しても無駄だと思った
- 5 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思った
- 6 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思った
- 7 子どもに危害が及ぶと思った
- 8 他人に迷惑をかけたくなかった
- 9 自分にも悪いところがあると思った
- 10 相談するほどのことではないと思った
- 11 相談機関を知らなかった
- 12 その他（具体的に： _____）

問21 あなたは、配偶者や交際相手などからの暴力（DV）をなくすために、特にどのような対策が必要だと思いますか。また、発生した場合に、被害者の安全を確保して早期に解決するために、特にどのような対応が効果的だと思いますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。（○は3つ以内）

- 1 相談窓口の充実
- 2 緊急避難施設（暴力をふるった相手から一時的に逃げ、暴力を回避するための施設）の充実
- 3 緊急避難施設を出たあと、問題の解決や自立（就職、転居など）を一貫して支援する機関の設置
- 4 警察の相談・対応の充実
- 5 ドメスティック・バイオレンスは、重大な人権侵害であるという社会的な意識をつくるための情報や学習機会の充実
- 6 女性も男性も、お互いを尊重し、認め合える教育の推進
- 7 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、ストーカー行為等の規制等に関する法律などの法律の強化
- 8 カウンセリング、自助グループ活動など、暴力をふるった人のための取組の充実
- 9 司法、福祉、心理、教育などさまざまな専門職や行政関係者のドメスティック・バイオレンスに関する研修の充実
- 10 実態把握のための調査・研究
- 11 親や周囲の人の理解と支え
- 12 その他（具体的に： _____）
- 13 わからない

問22 あなたは、配偶者や交際相手などからの暴力（DV）の防止について、どのような広報・啓発活動が効果的だと思いますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。（○は3つ以内）

- 1 テレビ・ラジオ・新聞
- 2 広報ふっつ
- 3 行政が発行するパンフレットや冊子
- 4 行政が掲示するポスター
- 5 行政の看板・垂れ幕・電光掲示板
- 6 行政のホームページやSNSなどインターネットを活用した周知活動
- 7 行政や民間主催の講演会や研修会
- 8 職場や学校での研修や授業
- 9 多様な団体等が行うイベント等
- 10 その他（具体的に： _____）

10 男女共同参画に関する施策などについて

問 23 あなたは、富津市が女性も男性も暮らしやすいまちになるには何が必要だと思いますか。
あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。(○は3つ以内)

- 1 性別に関係なく意見を出し合い、まちづくりに参画できること
- 2 多様な働き方が実現できる環境の整備や相談・支援の窓口があること
- 3 市民が気軽に集い、交流できる場があること
- 4 市民活動をしやすい環境を整えること
- 5 子育て支援や介護サービスが充実していること
- 6 幼少期から男女平等の意識を醸成すること
- 7 男性に対する男女共同参画社会の啓発を行うこと
- 8 女性に対する男女共同参画社会の啓発を行うこと
- 9 性別に対する偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
- 10 その他(具体的に：)
- 11 わからない

問24 「男女共同参画社会」を実現するために、市の施策に望むことは何ですか。あてはまるもの
を選んで番号に○をつけてください。(○は3つ以内)

- 1 政策等の企画・立案から男女の意見が反映されるようにすること
- 2 性別による役割分担の意識を改める施策の実施
- 3 学校教育などにおける男女平等意識の育成
- 4 DV、ストーカー行為根絶に向けた取り組み
- 5 職場における男女格差の是正や労働環境改善の働きかけ
- 6 育児・介護休業制度の普及促進
- 7 育児支援・保育事業の充実
- 8 職業訓練、職業相談の充実
- 9 健診体制や健康診断など健康に関する事業の充実
- 10 地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進
- 11 各種審議会等の委員への女性の登用
- 12 女性の人材育成の推進(リーダー養成など)
- 13 男女共同参画推進を専門に担当する課の設置
- 14 その他(具体的に：)

- 最後に男女共同参画に関してのご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

※質問は以上です。お忙しいところ、多数の質問にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。調査票は同封の返信用封筒にて、11月8日(月)までに、ポストに投函して下さるようお願い申し上げます（切手は不要です）。